

日・中・韓共同制作 演劇「祝／言」プレイベント

ドラマリーディング

祝／言

3. 11 演劇人を初めとする表現者たちは心の潰れる音を聞いた

それは今まで持っていた「言葉」が瓦解していく音でもあった

多くの被災者の心情を察するには、今も、大きな困難を伴う

しかし日々は続く

精神的な痛みは大きくなりこそすれ、小さくなり消えることはないだろう

「誰かが隣にいて、あなたを承認している」というプリミティブだがシンプルで

強いメッセージを東北の演劇人たちは有している

その東北の演劇人と、隣国である中国・韓国の演劇人

さらには伝統芸能継承者とともに、現在を語り合い、その未来を作品制作という現場から探る

何故なら、芸術こそ未来を語るにふさわしい人間の領分だからである

長谷川孝治（青森県立美術館舞台芸術総監督）

青森県立美術館は、平成25年度、国際交流基金と共同主催で、日・中・韓共同制作事業演劇「祝／言」を創作・上演いたします。そのプレイベントとして、日本・中国・韓国のダンサー・俳優・演奏家が写真とともにドラマリーディング「祝／言」を上演します。

日時／2013年2月2日（土）
14時～（開場13時30分）

会場／青森県立美術館シアター
（限定180席 全席自由）

主催／青森県立美術館・国際交流基金

入場／無料（事前申込み必要）

構成・演出／長谷川孝治
（青森県立美術館舞台芸術総監督）

写真／鈴木理策（日本）、キム・ジョン（韓国）
演奏／アンサンブル・シナウイ（韓国・国楽グループ）
齋藤沙希（津軽三味線）
踊り／中村登世之丞（日本舞踊）
語り／李丹（中国）キム・ソナ（韓国）
相澤一成（日本）他
※出演者に変更が伴う場合がございます。
あらかじめご了承ください。

舞台制作／有限会社エボック
音響／寺山紀幸・本多大公
照明／中村昭一郎
プロジェクト／野村眞仁
宣伝美術／山口潤
韓国語翻訳／石川樹里
中国語翻訳／シ・ショウイ

■ 観劇申込み方法

FAX：下記の申込用紙に記入し事務局までお送りください。

FAX番号 017-783-5244

メール：申込用紙の内容を下記アドレスまでお送りください。

Eメールアドレス
engeki@aomori-museum.jp

電話：事務局までお電話でご予約ください。

電話番号 017-783-5243（平日9時～17時）

■ 問合せ先

青森県立美術館舞台芸術企画課

〒038-0021 青森市安田字近野 185

電話番号 017-783-5243（平日9時～17時）

FAX番号 017-783-5244

青森県立美術館URL <http://www.aomori-museum.jp>

■ JR新青森駅から

ルートバスねぶたん号（左回り）

新青森駅南口バス停乗車

「青森県立美術館前」下車

■ 青森駅から青森市営バス

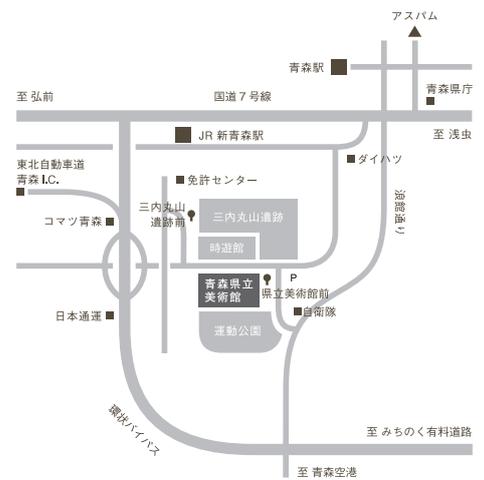
青森駅前6番バス停乗車

運転免許センター行き

■ 青森空港から車で約20分

■ 東北縦貫自動車道青森I.Cから

車で約5分



ふりがな	
氏名	鑑劇希望人数
事務局より申込確認のためのご連絡を差し上げます。連絡手段を○で囲んでください。	
1 電話	2 FAX
3 E-mail	
ご連絡先（	）